



## 平成28年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度	総事業費	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
						当初	当初							
						最終	最終							
中山間地域総合整備事業	502	茅広江地区	松阪市	【全体事業概要】 農業用水施設整備 L=3.47km ほ場整備 A=26.3ha 農地防災 ため池 1箇所	H13	H21	945	○直接的効果 (1)費用便益比 B/C = 1.17  (2)定性的効果 ほ場整備の実施により大型機械での乗り入れや作業が容易となり、用水路の維持管理の労力が軽減されました。 農業用水施設整備により農業用水が安定的に供給されるようになりました。 ため池整備により堤体の安定が図られました。	(1)環境面への配慮 一部の排水路を環境水路として施工しています。 現地の畦畔工の一部に現地発生材を利用した石積みを施工しています。  (2)環境の変化 アンケート結果からは環境への影響は小さいという結果となっております。	農産物価格が低迷し高齢化が進展している中、営農意欲が低下していましたが、本事業の実施により、作業効率向上したこと、維持管理の省力化が図られたことで、営農意欲や地域の農地を守っていきこうとする気運が高まっています。	(1)農業面での効果は、「農作業が楽になった」「農道や用水路、排水路の維持管理が楽になった」「耕作放棄地対策として効果があつた」など評価されています。  (2)農業面以外の効果は、「集落内道路の通行がスムーズになった」「集落内の雨水排水が改善された」など評価されています。	高齢化が進む中、農業の後継者不足が危惧されているため、農地の担い手への集約化が課題となっています。 対策としては、担い手への営農の委託の推進や、農地や農業用施設の維持管理費への補助制度の活用等を推進していくことが挙げられます。 今後の中山間事業についてはこうした認識をふまえ、地域のひとともに考え、効率的で効果的な事業実施を行っていききたいと考えています。	「事業の効果については評価結果の妥当性を認める」との答申をいただきました。	過疎化や高齢化により、農地や農業用施設農地の維持管理を農家のみで実施することが困難な状況になってきているため、それらを地域の共通資源とし、非農家も含めた地域全体で管理に取り組むようなことが必要となってきています。 その対策として、「多面的機能支払」が平成27年度に法制化され、維持管理や環境美化活動に対して財政的支援が行われるようになってきているので、これを推進し地域の活動を支援します。
						H22	1,285	○間接的効果 (1)波及的効果 道路が整備されたことにより、地区内の道が健康づくり等ウォーキングに利用されるようになったという意見をいただいています。						



## 平成28年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度	総事業費	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
						当初	当初							
						最終	最終							
道路事業	504	主要地方道鳥羽松阪線(榎田橋工区)	松阪市	【全体事業概要】 延長 L=1.5k m 幅員 W=14.0(26.0)m  主要構造物 榎田橋(L=279m)	H8	H22	8,580	【費用便益比】 B/C=2.2  【その他の効果】 当該事業区間の4車線化とともに、老朽化した榎田橋の架け替えにより、緊急輸送道路としての機能を強化しました。	当該事業による交通渋滞の緩和等により、CO2(二酸化炭素)排出量が削減されました。	県道松阪環状線が平成18年度に整備供用され、国道42号松阪多気バイパスが現在国交省において整備中です。 そのため、当該路線に接続する幹線道路の整備が進み、幹線道路ネットワークを完了させることで、松阪市内における渋滞解消効果が期待されています。	アンケートの結果、満足と感じる項目については、「歩道が広くなり、安全性が向上した」が最も多く、次いで「渋滞が緩和され、快適に走行できる」となっています。一方、不満とを感じる項目については、「完成までに長期間を要した」となっています。	「完成までに長期間を要した」との回答については、今後事務所内での各課が連携し、事業進捗の早い段階で一人でも多くの関係者に事業の必要性に対するご理解をいただけるよう、わかりやすい説明に努めてまいります。 また、「4車線化による走行環境の向上により、スピードを出す車が増え、交通事故の危険性が増加した」等の意見については、警察とも連携し標識等の設置によりドライバーへ注意喚起を検討していきます。	事業の効果については評価結果の妥当性を認める。	アンケート調査結果により、4車線化による走行性の向上に伴う自動車の走行速度の上昇や、4車線から2車線へのすりつけ区間について不安を感じていることが判明しました。 今後同様の渋滞緩和対策を行う際には、関係機関とスピード抑制を促すなどの対策を検討するとともに、すりつけ区間には十分な安全対策を講じるように計画していきます。
				H22		8,059	【事業目的】 交通渋滞緩和により円滑な交通を確保するとともに、老朽化した榎田橋の架け替えにより安全性を確保することで緊急輸送道路としての機能強化を図るものです。							

## 平成28年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度	総事業費	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	委員会意見概要	事業方針概要
						当初	当初							
						最終	最終							
港湾改修事業	505	鳥羽港	鳥羽市	<p><b>【全体事業概要】</b>                      防波堤(東) L=260m                      防波堤(北) L=50m                      護岸(中) L=200m                      浮き棧橋 n=5基                      臨港道路 L=200m                      緑地・施設 A=7,317㎡                      造成 A=3,800㎡                      ターミナル 1棟                      その他集計等</p>	H6	H21	12,671	<p><b>【費用便益比】</b>                      B/C=1.17</p> <p><b>【事業効果】</b>                      ・効率的な離発着が可能となり移動コストの削減が図られました。</p> <p>・港の魅力が向上し観光客が再び訪れるようになる効果が向上いたしました。</p>	<p>・緑地の整備に伴い、散策しながら鳥羽港の景色を楽しむことができるようになりました。</p> <p>・施設を新しくしたことによって、賑わいあるみなの玄関口に相応しいものとなりました。</p> <p>・施設のバリアフリーを進めることによって利便性や安全性の向上が図られています。</p>	<p>近年は観光客の入込みも減少が続いていましたが、伊勢神宮遷宮の影響で国内外での関心が高まり、平成25年に増加に転じています。また、「伊勢志摩サミット」によって海外諸国から伊勢志摩地方への関心度が高まり、H27年度には全体入込観光客が4.3%増加し、今後も影響は大きいと推察しています。</p>	<p>アンケート調査の結果、新しい施設に対し、きれいになり使いやすくなったという意見が多い一方、駐車場が駅から遠くなった、船の便数が少ないといった意見もありました。</p>	<p>今回得られた地域住民や観光客のご意見・ご意見ご要望を施設運営者と管理側が情報共有し運営の参考にしていきます。</p>	<p>事業の効果については評価結果の妥当性を認める。</p>	<p>利用者からの意見をふまえ、「三重県ユニバーサルデザインまちづくり条例」に合致した施設の利便性・快適性の向上をさらに図ります。</p>
				H22		12,942	<p><b>【事業目的】</b>                      海の観光の玄関口として賑わいのあるみなとづくりを行うとともに、効率的な入出港が可能な施設整備することにより、港の利便性と快適性の向上を図るものです。</p>							